



先日のお泊り保育では、皆様にご協力いただき、だいち組と一つ一つのプログラムを丁寧に関わってあげることができ、思い出いっぱいの日を職員全員で過ごすことが出来ました。ありがとうございました。子どもたちが思うお泊り保育を準備し、実行できて感謝です。

さて最近、他のクラスも「これからの自分たち」をよく気にするようになりました。だいちになったらこんなこともあんなこともしたい！の気持ちが今のひかりさんには芽生えてきました。子供同士で「だいちになったらね・・・」「もうすぐしたら・・・」となんだかこそそそ話で盛り上がってきます。それぞれが大きくなっていくことを夢見て新しい年を迎えることでしょう。来年は「酉年」。みなで新しい年を大きく羽ばたきたいと思います。

さて、6月頃にオリーブオイルを作りたい、そしてパンに付けて食べたい！というおしゃれな夢を持って相談しにきてくだいだいちさんの思いが、お母様方のお手伝いを頂きながら叶えられました！園庭の実も30センチくらいのボールに半分くらい収穫できました。さあ実をひたすら叩いてつぶす作業を40分くらい。黒い実がつぶれて紫色に・・・「おいしくなあれ」を繰り返し唱えながらもみもみもみもみ・さらしの布に移し変えて待つこと5日間。玄関のカウンターの上において毎日どうぞオイルが取れますように！と願いました。お手伝いくださったお母様からも毎日お迎えの際に「どんな感じですか？」とお声を掛けていただきながら18日のパン作りの日を迎えました。朝からパンをこね、膨らむのを待つ間にいざオイル抽出。離乳食の介助用のスプーンをそっと液の上澄みをすくうと・・・綺麗な綺麗な色のオイルが少しずつ少しずつ・・・みなで1滴を手のひらにのせて「せーの！」でなめました。ピリッとしたなんともいえない香りのあるオイルでした。これぞ、バージンオイル！！私も初めての経験をすることが出来ました。子どもの「やりたい～！」にお付き合いし、半年以上かかった取り組みでしたが素敵な期間でした。昼から園庭で焼いたパンに付けて味わえた至福のひと時でした。子どもたちにも感謝です。



取れた貴重なオイル



一生懸命潰しました



みなでぺろっ！

さて、今年も残すところわずかとなりました。28年度は私にとっても実父が他界したり、身近な人とのお別れが重なる一年でしたが、かえで保育園の子どもたちのパワーに元気をもらえ悲しみから少し前向きになれた一年でもありました。

保育園生活はただ子どもたちと楽しいことばかりを進めているのではなく、PDCA サイクルで計画→実行→評価→改善をしながら保育園運営をしています。今年度は、保育の行事を見直し、子どもたちがゆったりと園生活を過せるよう計画してきました。年明けて2月には成長発表会を迎えます。また今年は3月25日に作品展も予定しています。(10時から16時まで開催予定)

あっという間に月日が過ぎてしまいますが、知らぬ間にお子様は一段ずつ、階段を上がるように成長していきます。どうぞ成長の瞬間を見逃さないようお子様の行動・話に耳を傾けてくださいね。

かえで保育園も12月半ばには保育の評価をしていただき、改善すべき点を明らかにすると共に、定着してきた良い点は更に深めていきたいと思っています。

どうぞ29年度もよろしくお願いいたします。

～予告～

年明けにニコニコ広場に素敵な空間を増やそうと思っています。どうぞお楽しみに！！

にこにこメッセージ♪

秋から冬のうつりかわりの速さに驚くまもなく早、師走となりました。

去る秋を思い返せば、公園で拾ったどんぐりや落ち葉の自然物で楽器作りや制作をし、園庭で収穫した里芋はまるごと湯がいて熱々を頂きました。だいちぐみは骨つきさんまに悪戦苦闘し、また体が温まる粕汁も昼食に頂きました。蒸したての栗やラフランスに柿、赤や黄緑のりんごを食べたりと秋を堪能しました。次は一段と寒くなる冬に楽しめる遊びやおいしいものは何かこどもたちと発見できればと思います。11月のだいちぐみのお泊まり保育、こどもたちはもちろんのこと担任を中心に職員全員で様々なプログラムを担当し全員が園でお泊まりをしました。毎年色々なプログラムがありますが、基本こどもたちが内容を決め進めます。晩ご飯は「ばばばーちゃん」の絵本からのお好み焼き作り、本格的にお出汁作りから始まり生地作り、「カボチャばたけのはたねずみ」の絵本に登場するねずみさんから、だいちぐみにかぼちゃが送られ、そのかぼちゃを使った「コロッケ」が食べたい、かぼちゃコロッケをのせた「カレー」も！のリクエスト、もう十分と思っていたら、お泊り保育の数日前になり「餃子」もプラスされました。担任はどうしたものかこどもたちと相談し、どれを作るか話し合いを重ねましたがなかなか決まらず…せっかくだからこどものリクエスト通りのメニューに決めました。どれもこれもおいしく出来上がりみんなお腹いっぱい幸せな時間を過ごしました。だいちぐみなどからも詳しく発信されています。こどもたちは心も身体も大きくなりました。たくさんのご協力ありがとうございました。

主任保育士

藤森 寿美

～乳児からのお知らせ・お願い～

・靴下は保育室の靴下用のケースに入れていただきますようお願い致します。

～幼児からのお知らせ・お願い～

- ・ロッカーに汚れ物を入れるビニール袋のご用意をお願い致します。
- ・外遊び用の上着を上着掛けに引っ掛けられるように紐をつけてください。

【せんせいからのおはなしコーナー】

私事ながら、4月に甥っ子が誕生しました。出産にも立ち合い、涙を流しながら力んだのがつい昨日のことのようです。小さな体で懸命に産声を上げ、自分の存在を力いっぱい伝えようとしている姿に、感動したのを覚えています。

首が据わっていない間は抱っこするのにもはらはらしたり、名前を呼ぶと笑顔で応えてくれる反応一つひとつに、心の中で大喜びしたりもしました。

そんな甥っ子の存在から学ばせてもらったことがあります。少しずつ膨らむお腹に向けて優しく声をかける毎日や、壮絶な出産の後に感じるこれ以上ない程の喜びや、仕事が終わって一刻も早く会いたい、寝てしまう前に…！というはやる気持ちなど、上手く言葉で言い表せないのですが、私自身分かっていたようで分かっていなかった部分を甥っ子から教えてもらったように思います。

保育園に入園されるお子様も、地域で見かけるお子様も、一人ひとりに生まれる前からそれぞれの想いや背景があることを、ふと考えるようになりました。幼児クラスの子にめばえ組の頃の話をする、「それでそれで？」と目を輝かせて聞いてくれます。おうちでもぜひ、お子さんとの思い出をたくさん話してあげてください。愛情を受けて育ったことを感じ、きっと暖かい気持ちで包まれるのではと思います。

河本 彩奈

ねらい：「友達と関わりあそぶことを楽しむ」

う た：「ジングルベル」「てをたたきましょう」「まにまにけむし」

肌寒い日が続いていますが、温度や体調を見ながら寒い中でも午前中は出来る限り外で体を動かせるよう保育をすすめています。11月は何度か2階のテラスにも上がるように行動委範囲も広がってきました。テラスで「よーいどん!」とかけ声をかけると端から端まで一生懸命走ろうとする姿はとってもかわいいです。「もっかい!もっかい!」と指をたてて、何度もみんなで走り回りこちらが疲れてしまう程でした。言葉もたくさん出てきて、保育者や友達とのやりとりもどんどん増え、ますます楽しくなってきました。

【ままごとあそび】



ままごとコーナーがお部屋に出来てから、お皿にごはんを入れて、コップとスプーンも出してきて、「いただきます」と手を合わせてあそんでいます。隣にお友達が来ると、嬉しそうににこにこ笑い合いながら一緒にあそびます。スプーンやコップを「どーぞ」を渡して、「あーと」とお礼を言ったりなど、そんなやりとりもたくさん見られるようになってきました。

「かんぱい!!」



子どもたちと一緒にあそんでいる時に、コップを持って「かんぱーい」をしてみました。すると、みるみるうちに乾杯をすることが広がっていき、お友達同士で「ぱーい」とコップを持って合わせる姿が見られるようになりました。一緒に乾杯をし合って、一緒に飲む真似をして、「おいしい」と言う姿は、とってもかわいらしいです。

「あーん」



スプーンに入れたごはんを保育者の方に持ってきて「あーん」と食べさせてくれるAくん。口を一緒にもぐもぐしながら食べる真似をしています。最近では、お部屋にあるくまのぬいぐるみを持って来て、そのくまさんに食べさせてあげようとしています。大事そうにくまさんを持って出かけたり、よしよしと頭をなでてあげたり、お布団をかけて寝かせてあげています。他のお友達と同じように、ぬいぐるみのくまさんにも優しく接してあげる姿に気持ちが温くなりました。

“担任の思い”

めばえのこの時期は、毎日毎日繰り返し行うということが大切だと確信しています。食事の時のあいさつ「いただきます」「ごちそうさま」が、自然と遊びの中でも出来ていたり、保育者の姿をよく見ているのか、タオルで机の上を拭いてみようとする子もいます。普段の生活の中でしていることがあそびに繋がったり、反対にあそびの中でしていることが普段の生活のことにも繋がっていくことがたくさんあるのだと感じました。生活からあそび、あそびから生活へと色々なことが繋がっているのだと思うと、どんなことでも一つ一つ丁寧に子どもたちと向き合いながら関わっていきたくないと改めて思いました。

原田千尋 谷角早紀 星加由美子

ねらい：「季節を感じながら好きな遊びを楽しむ」

う た：「あわてんぼうのサンタクロース」「パンダ・ウサギ・コアラ」「赤鼻のトナカイ」

わらべうた：「もみすりおかた」「こっちのたんぽ」「つんなんごう」

11月が過ぎ、少し肌寒く感じられるようになってきましたがふたばぐみさんはまだまだ元気いっぱい外遊びを楽しんでいます。先月は交通公園までめばえ組のお友達とたくさんお散歩に行きました。友達と手を繋いで歩くことにも慣れ、園庭で遊んでいるときにも子どもたちから手を繋いで楽しそうに遊んでいます。

～どんぐり～



交通公園にお散歩に行くと、たくさんのどんぐりや葉っぱがありました。秋が深まるにつれ、どんぐりを見つけたり茶色になった葉っぱを見つけたり、子どもたちは目や肌で秋を感じられたのではないかなと思います。お散歩に行くたび、たくさんのどんぐりを見つけ興味を持っていました。両手にたくさんのどんぐりを持って嬉しそうに「いっぱいだよ」といいながら見せてくれます。「かわいいね～、ちっちゃいね～」と子どもたち同士でどんぐりを見合ってお話をする姿もたくさん見られました。園庭にもどんぐりの木がありどんぐりの赤ちゃんやどんぐりの帽子が落ちています。それを見つけると「あ、どんぐりだ」と言いカップに大事そうに入れてギュッと握って持っていたり、お友達とどんぐりをままごとに使って遊んだり「小さな秋」の中でたくさん遊ぶことが出来ました。

～できた！～



室内遊びでは積み木もできるようになりました。最初は上に高く積み上げることだけでも難しく、すぐに倒れてしまっていました。今では上に高く積み上げることや家や電車のように見立てて積み木遊びをする事も出来るようになりました。高く積み上げるとぐらぐら～となりながらも「できるかな」とそーっと積み上げます。一つできるともう一つのせてみよう挑戦。周りで見ている友達も「大丈夫かな」と心配そうに見つめています。上手に出来ると「みてみて！できた！」とお友だちや先生に見せてぱちぱちと拍手をして喜んでいました。

担任の想い

2016年も残り一ヶ月となりました。おぼつかない足取りだった子どもたちも園庭で走り回れるようになりました。園庭では「よーいどんしよう」と声をかけお友達同士でかけっこをしています。走ってこけてしまってもすぐに「だいじょうぶ？」と優しく声をかけ合って仲良く遊んでいます。そんな優しい姿がたくさん見る事が出来るようになり、嬉しく思います。ふたばぐみの部屋の環境もゆったりと遊べるように考え、少し場所を移動しました。一つ一つの遊びを丁寧に楽しめるよう進めていきたいと思っています。

西口 智子・日笠 加菜・林 千紗

ねらい：「ともだちと一緒にあそぶことを楽しむ」

う た：「あわてんぼうのサンタクロース」「赤鼻のトナカイ」「お正月」

11月に入り、一気に秋の気候になりましたが、外で身体を動かすことが大好きなつぼみぐみさん。友達と一緒に遊ぶ中で自分の思いや相手の思いを少しずつ伝えあうことが出来るようになってきました。遊びも子どもたちの誘い合いから、電車ごっこや追いかけっこが始まるようになり、一緒に遊ぶことを少しずつ楽しむことが増えてきました。これから益々寒くなってきますが、寒さに負けず元気いっぱい活動していけたらと思います。

“お絵かき”



子どもたちが好きなときにお絵かきができるようにと、お部屋にお絵かきの道具を常備してから3ヶ月ほどが経ちました。その間にも子どもたちは毎日のようにお絵かきに取り組み、かわいらしい絵をたくさん描いて楽しんでいました。始めは丸や、なぐり書きだった子も少しずつ目が描けるようになり、口が描けるようになり、最近では髪の毛や手足も出てきました。お友達の絵を見て真似したり、描いた絵を見せ合ったりと、お絵かきを通しての友達通しのやりとり、成長を感じます。またお絵かきをしている子どもたちは本当に楽しそうで「これパパで、こっちはママ!」と描いた絵を嬉しそうに見せてくれています。最近では紙を飛び越え、園庭の砂場にも指でお絵描きしているつぼみさんです。まだまだつぼみ組のお絵描きブームは終わりそうにありません。子どもたちが描いた絵を持ち帰った際には一緒に見て、是非子どもたちの成長をご家族で楽しんで下さい。



“どんぐりあったよ”

最近、園庭に出ると必ずどんぐりを拾ってきてくれるつぼみさん。どこにいっぱい落ちているのか、誰のどんぐりが大きいのかなど、子どもたち同士でどんぐり拾いを楽しんでいます。園庭に出ると、友達通し誘い合ってたくさんのどんぐりを拾い集めています。また、以前浜戎公園へ散歩に行った際にも遊具には一切目もくれず、どんぐり拾いに夢中になる子どもたち。つぼみのお部屋には、そんな子どもたちが拾い集めてくれたどんぐりでいっぱいです。今度、それらのどんぐりを使って楽しい制作活動をしようかと計画しています。どんな作品が出来上がるのかどうぞ楽しみに。

“担任の思い”

子どもたちの自我がどんどん強くなってきているこの時期。自分の思いを通したい、相手に伝えたい、そういった「思い」をたくさんもつようになりました。また、自分の事は自分でやるといったことにもこだわりが出てきたようで、着替えや排泄もどんどん一人でやってみようとしています。見ていて思わず手を貸したくなることもあるのですが、子どもたちの一人で出来たという「思い」を大切に、傍で温かく見守っていきたいと思います。

須藤聖美 三谷梨緒 高田奈沙

ねらい：「自分で出来ることを増やしてみよう」

う た：「あわてんぼうのサンタクロース」「ゆげのあさ」

お友達との遊びでは、「〇〇にしよう」と話をしながら遊んだり相談したりと、一緒のおもちゃで遊ぶだけでなくお互いの想いを伝えあいながら遊ぶ姿も見られるようになってきました。散歩に出かけた時には「色水したいからこのお花を持って帰りたい」「折り紙で作ったきつねの紙に貼りたいから葉っぱを持って帰ろう」などこれからしたいことを考えて見通しを持って遊ぶ姿もでてきました。少しのことでケンカになってしまうこともあります。少しずつ少しずつ、お兄さんお姉さんに近づいてきているなと感じることがたくさんできてきました。

かぶの栽培 ～色の違い～



葉っぱが日に日に大きくなり間引きを行いました。皆で白ゴマと黒ゴマをすり鉢ですり、みりんや醤油を混ぜた物を和えて食べました。かぶの葉っぱが美味しい事、ゴマをするといい匂いがすること、ゴマには白色と黒色があることなどたくさんを知りました。その後も大事に育て少しずつかぶが大きくなっていきましたが、ある日見ると葉っぱが穴だらけになっていました。よく見てみると青虫がたくさんいて食べていました。「かぶも食べられちゃう！」と虫に食べられてしまう前に収穫することに！以前収穫したラディッシュは外は赤色なのに中は真っ白で驚いていたので、今回のかぶも何色かを予想してみました。切って中を見てみると…「まっしろ」。かぶは中も外も同じ色だと知りました。実際に食べてみると甘くて美味しくて何度もおかわりしていました。今でも「またかぶする？」と話をしたり、ままごとでかぶ料理を作ったりして「かぶ」を楽しんでくれています。

そうめん流し



夏の水遊びからスコップや砂を使って水の流れ道を作る遊びを楽しんでいましたが、最近ではおもちゃを使って水の流れを作ることを楽しんでいます。保育園でそうめん流しをした経験から“水を流すこと”から“そうめん流し”につながり上から下へと水が流れるようにしたいと色々コースを作っていました。始めは高低差をつけることが分らず苦戦していましたが、少し坂をつけて「こうしたら流れそうかな？」と一緒にやってみると「できた」と坂道を作ることに気付き、そうめんに見立てた葉っぱや砂を流すことに挑戦しています。ペットボトルやバケツなど思いついた物を持って来たり、メガホンで応援したり、水を運んだりとお友達と相談しながら遊んでいます。道をつくる子どもたちの目は真剣でどんなそうめん流しができるのか見ている側もとてもわくわくします。

“担任の思い”

「もういぶきさんやもん」と色んなことに挑戦する姿が見られます。「やってみたい」という思いが毎日の生活の中でたくさんあるので、“自分でボタンを止める”“服や口が汚れていないか確認する”など自分の身の回りのこともできることを増やして行ってほしいと思います。一緒に出来たことを喜びながら、時にはお友達を手伝ってあげながらいろんなことに挑戦していきたいと思います。

足立真裕子

ねらい：「年下の友達のお世話を楽しむ」

う た：「赤鼻のトナカイ」

11月ではつぼみ組やいぶき組のお友達と一緒に散歩に行く機会がありました。車道側をつぼみ組のお友達が歩いていると、「チェンジ！チェンジ！」と言って自然と場所を代わってくれます。そんなお兄さん、お姉さんになったエピソードもありますが、だいち組がお泊まり保育をするという話になったとき、「真っ暗な中みんなでお泊まりするの？こわ！無理かも…。」とだいち組のお兄さん、お姉さんに憧れる姿もあります。12月にはつぼみ組のお友達が順番にランチルームにご飯を食べに来ます。だいち組のお友達に憧れの気持ちを持ちながらも、年下のお友達を助けることも経験してほしいです。



“そらまめくんのベッド”

前回のトマトに続き、今回は何を育てようかと話すと、たくさんの意見がでましたが最後には、きのこにするか、そら豆にするか、みんなで悩みました。そして「そらまめくんのベッド」という絵本のなかで、そらまめ君がいつも寝ている皮の布団を見て、「どんなにふかふかか見てみたい。」という声が出て、そらまめを栽培する事に決まりました。そらまめの種をみんなに見せると、「そらまめくんや！ふかふかのベット作ってあげなきゃ！」と大張り切りです。園庭の畑の雑草抜きから始め、土を耕して、その土をポットに入れて種を植えました。優しく優しく植えた後、その場から動こうとせず、じっと見つめたままのお友達が。「どうしたの？」と声をかけると、「まだ芽が出てこないかな？って思って。」と、植えたばかりのそらまめとにらめっこしていました。はたして芽は出るのか、みんなで楽しみにしています。



“電車にのったよ”

電車を近くで見に行ったことをずっと覚えていたひかりさん。今度は電車に乗ってみたいなあとお楽しみにしていたのですが、ついに先日みんなで電車に乗りにいきました。阪神香櫨園駅から阪神西宮駅まで、一駅だけですが、初めてお友達と一緒に電車に乗ることはひかりさんにとって大冒険でした。いくつか特急電車を見送った後、ついにみんなの乗る電車がやってきました。わくわくドキドキしている姿がこちらにも伝わってくるほどで、電車に乗り込むとみんな窓にべったり。「あれ、ぼくのお家ちがうかなあ。」「早すぎて見えない～！」「いっぱい揺れてジェットコースターみたい！」などなど、大興奮でした。お家の方と一緒に乗ったこともあるとは思いますが、お友達と一緒に乗ることもでき、みんなとても嬉しそうでした。次はもう少し長い距離を電車に乗る事ができるよう計画中です。

“担任の思い”

今までずっと楽しみにしていた電車に乗ることを今回初めて一緒に体験でき、子どもたちのキラキラした目や嬉しそうな顔を見ると、自分までとてもうれしい気持ちでいっぱいになりました。普段、お家の方と電車に乗ってどこかへ出かけたりするとは思いますが、自分で改札に切符を通したり、「電車の中では、しいたけしいーって静かにしないとね。」と子どもたち同士で声を掛け合ったり、窓を見ながら楽しそうに話したりすることなど、子どもたちにとって普段とはまた違った特別な経験ができたのではないかなと感じました。まだまだ子どもたちの電車への興味は続いています。友達と楽しい気持ちを共有できる機会を持てるよう計画していきたいです。

ねらい：『相手の気持ちに気付こうとする』『自分で考え、工夫する』

う た：『上を向いて歩こう』

楽しみにしていたお泊り保育に向けて 10 月からアイデアを出し合い、当日を迎えました。夕飯のメニューは何が良いか、夜はどのように過ごそうか、お泊り保育だからこそ出来ること等、その中にはだいちさんが今興味のある星座や、ひかり組の頃に絵本で見たみかんランプもありました。他にも「1 日かけて積み木やカプラで大きなものを作りたい」「絵本を作ってみたい」等、1 泊 2 日のお泊り保育には入りきらなかっただいちさんの“やってみたい”を、今後も日々の中に取り入れて楽しみたいと思います。

工夫すること

だいち組になり、数々のクッキングを経験してきました。そして様々な味覚を知り、自分の好みの味、苦手な味を発見しているだいちさんです。16 人いるのももちろん美味しいと感じるものもそれぞれ異なります。栽培を通して今だいち組の中で大きく膨らんでいる“かぼちゃ”まずは素材の味を知って欲しいと



ほくほく煮にして食べました。その後絵本の世界を楽しみながら種の中身を食べたり、お泊り保育ではかぼちゃコロッケにしたり、様々な形でかぼちゃ料理を楽しんでいます。

ある日のこと、だいち組で栽培し収穫したものや、はたねずみさんからお泊り保育でいただいたかぼちゃを、次はどのように料理して食べようかという話になりました。その話し合いを聞きながら、かぼちゃが苦手な A ちゃんの顔をそっとのぞくと、じっと聞き入っていました。そこで前日に A ちゃんから聞いていたことをみんなに話してみることにしました。「A ちゃん、かぼちゃは苦手だけど、少し工夫したら美味しく食べられる方法があるんだよね」「うん、マヨネーズと一緒に食べるのは好き」「え！そうなの?!」みんな A ちゃんがかぼちゃが苦手なことは以前から知っていたので、驚いた様子でしたが、「そしたらさ、A ちゃんも食べられるような料理を考えようよ」と提案してくれました。そこから 3 つのグループに分かれてお料理名人の先生に作り方を聞いてみることも、全て子どもたちだけで決めたことでした。

各グループ考えたかぼちゃ料理は、“助け合いサラダ”“かぼちゃカレー”“かぼちゃケーキ”

本当は一日で全て作りたい！という声もあったのですが、きっと夕方までかかってしまうので、一つずつ作っていくことにしました。第一弾として作った助け合いサラダは大成功、「もしかしたらまた作るかもしれないから」とレシピも大切に残しています。

“担任の思い”

“工夫する”ということを経験の中で知ること、苦手なものを避けて通るのではなく自分で考え新しい方法を見つけ出す力に繋がればと思います。また、食べ物に限らず人それぞれ好みが違うことを知ることは、“自分らしさ”“相手らしさ”を認め合うことへの第一歩であると感じています。友だちも一緒に楽しめるようにと当たり前のように考えてくれただいちさんの姿が、子どもたちの考えた“助け合いサラダ”と重なりました。料理をすることの楽しさや食べてもらうことの喜びも感じているところなので、ぜひお時間のある時におうちでも一緒に試してみてくださいね。



保護者の方からのおはなしコーナー

ひかり組になり、急に成長した感じが、ちょっとした会話の中から凄く感じる様になりました。やってみたい事、見てみたい事、調べてみたい事など、口に出して子どもの方から話してくれて、いろんなことが一緒に出来るようになり、遊んでいると親の方が楽しく遊んでもらえている感じが、心地よくなりました。

ひかり組 なおふみさん

先日、保育参加のとき、運動発表会の日にはまだできなかった連続逆上がりをみせてくれました。園庭で鬼ごっこをしましたが、ひかりさんはこんなに早く走れるんだなぁと感心しました。家では末っ子の気が強いわがままちゃんですが、お友達とルールを決めて、譲りあって仲良く遊ぶ姿にお姉ちゃんになったなと・・・大好きな楽しい保育園、いつも仲良くしてくれているみんなと先生方に感謝です。

ひかり組 えみかさん

毎日、今日は保育園で何して遊んだの??って聞くようにしていますが、初めは返ってこなかった返事も最近はジェスチャーも入って、「〇〇ちゃんとお手てつないだ」とか「公園いった」とか教えてくれます。この間は、「ひこうきのった」って言うんで、「うそーっ!!」と驚いたら得意そうにニコニコしていました。

ふたば組 つぐみさん

最近、お姉さんぽくなってきた娘。私が手を切ったり、足をぶついたりして痛がっていると、「どうしたん?どこが痛いん?痛かったね〜?」と頭をヨシヨシして慰めてくれます。きっと保育園でも同じようにしてもらっているんだなぁと園での様子が思い浮かびます。優しい子に育ってくれているんだなぁと感じ、うれしく思いました。

いぶき組 せつこさん

お風呂上りに「お母さん大好き!」と抱きついてくる甘えん坊の娘ですが、お泊まり保育の閉会式でキビキビと動き、ハキハキと話している姿を見て、大きな成長を感じることが出来ました。

だいち組 あきこさん

朝、登園するときに空を見上げると飛行機が飛んでいて、鳥がスーっと横切りました。それを見て「鳥になってみたいな。鳥になったらひこうきにさわれるかもしれない。おつきさまにもさわれるかもしれない。もしかしたら、うさぎさんとあそべるかもしれない。」とつぶやいていました。聞いた私はほっこりさせてもらいました。

子どもの頭はやわらかいな〜

だいち組 まきさん

朝の受け入れで、いつもいつも泣いていた娘。最近パパと約束し、やっと泣かずにバイバイしてくれるようになりました。と思ったら、「お姉ちゃんになったよ!」といろんなことを頑張ってくれるようになりました。

これからどんな姿を見せてくれるようになるのかとても楽しみです。

つぼみ組 あやねさん

～お台所から～

あっという間に12月ですね。12月はおいしい食材がたくさんあり、子ども達にとって楽しい事もたくさんあると思います。栄養士の2人も子ども達に素敵な食事を提供したいと思います。11月は白鹿の酒粕を使用して粕汁を提供しました。

<11月の食育の様子>

・すりごま作り

ごまのいい匂いを感じながらいぶき組さんが自分達の顔よりも大きなすり鉢で楽しそうにごまをすっていました。食事でもリリリ食べていました。

・もちもちパン

最初は丸めるだけだったのですが、『うさぎ』『きょうりゅう』などと自分の好きな形を作って楽しんでいました。

・お出汁をとる

だいちさんのお泊まり保育では、だしを一からとりました。昆布だしとかつおと昆布の合わせ出しの飲み比べをしていました。味を付けなくても『おいしい』などと声が飛び交っていました。

・オリーブオイル・パン作り

自分たちでオリーブをつぶして叩いて、パンもたくさんこねて。皆で園庭で自分達の作ったオリーブオイルをつけてパンを食べてとても素敵な時間になりました。

<12月旬の食材>

白ねぎ	ごぼう
レンコン	さといも
だいこん	にんじん
ブロッコリー	

<12月に予定してる食育>

おもちつき大会

五平餅屋さん・・・幼児さん（おやつ時間に五平餅をランチルームに届けます）

人参クッキーの型抜き・・・幼児さん

もちもちパン



酒粕



お誕生日ケーキ





☆お願い☆

- ・感染性疾患が出る季節となりました。朝の検温・体調管理をし、不調の場合は必ずお知らせください。
- ・薄着で過すことを奨励していますが、保温はしっかりしてください。肌着（おなか隠れるサイズ）を着用してください。
- ・2歳児までは気温にあわせて床暖房が入ります。
- ・幼児クラスの上着は動きやすいものをご用意ください。また、ロッカーの中の衣服の入れ替えをしてください。
- ・1月13日に夕方コンサートをします。琴とオカリナの演奏者をお招きして日本のお正月を感じたいと計画しました。詳しくはポップにてお知らせします。

こんなことしたよ♪

11月11日（金）～12（土）にだいち組のお泊まり保育がありました。宝さがしやみかんランブづくりなど、子どもたちがわくわくするプログラムがたくさん2日間でした。子どもたちからは、「お友達と一緒に風呂に入るのが楽しかった！」「お好み焼きをひっくり返したのがおもしろかった！」など色々な感想があがり、すてきな泊り保育となりました。
ご協力頂きありがとうございました。



18日（金）には、かえでカフェで手作りパン作りをしました。だいち組さんにもお手伝いをしてもらい、生地から一生懸命こねて作りました。大きく膨らんだ生地に子どもたちは大興奮でした。お昼からはお母さん方にお手伝いいただき、園庭で炭をおこし焼きました。お昼寝から目覚める頃にはパンが焼けるいい匂いでいっぱい！焼きたてのパンとっても美味しかったです。お手伝いいただいたみなさまありがとうございました。



- ・毎月、保育の振り返りや計画のために職員全体会議・乳児会議・幼児会議・リーダー会議・食育会議等を行っています。特に職員全体会議は18時から行ないます。会議の日をお知らせしますので迎えに来られた際は速やかに降園をお願いします。
- ・冬季保育は12月26日から1月6日までです。お仕事がお休みの方、育児休業中の方は、ご家庭でゆっくりお過ごし下さい。
- ・12月29日～1月3日まで休園です。

休み中の緊急連絡は

080-3862-3352（園長携帯）まで

- ・1月4日はお弁当日となります。ご用意ください。



12月の予定

- 1日（木）香櫨園小学校交流（だいち）
- 2日（金）おもちつき
- 5日（月）西宮市児童交流会（だいち）
- 7日（水）移動動物園

*野菜・果物の持ち寄りにご協力をお願いします

- 15・16日（木・金）第三者評価受審
- 19日（月）月例健診
- 21日（水）おたのしみ会

12月誕生会

- 22日（木）ひかり・だいちメヌエット訪問
- 29日（木）～1月3日（火）休園となります。

1月の予定

- 1月 4日（水）保育開始
- 1月13日（金）かえでカフェ（16：00）
琴とオカリナの音楽コンサート
- 1月17日（火）浜脇小学校合同震災訓練
- 1月21日（土）西宮民間保育園新年の集い
保育は13時までとなります。